

9/28(木)14:20～ 学校運営協議会

○「人の役に立った」の項目が高いのに、「将来の夢」の項目が低い。

→職業観につながっていない…

今後なくなる仕事もあるが、「人の役に立った」は変わらない。ぶれてはいけない。
お金をもらうだけではない。

○自転車通学の生徒が、見知らぬおばあさんに、気持ちのよいあいさつをしてくれて、うれしかったという地域からの報告がある。

○「将来の夢」という質問項目を変えた方がよい。漠然としていて、答えにくいのでは？

→なりたいものはあっても、「無理だろう…」と思う生徒もいるのでは？

○いじめについて。どう対応しているか？プログラムがあるか？

→組織として対応している。外部機関とも連携している。保護者に説明し、連携して指導している。

○不登校については？

→別室（ステップルーム）がある。常時滞在している生徒もいる。授業によって参加する生徒もいる。一時的に避難することもある。函南中は2年前から開設している。別室があることで、学校に登校できる生徒もいる。

○各地域でお祭り等があるが…？

→防災訓練に参加するよう、学校でも声をかけている。

○参加証明書は？

→通知表に記載して参加者を賞揚している。

<地域との連携について>

- 子どもが少ない地区でも参加してほしい。
- 子どものときに区の行事に参加していると、大人になって区の役員をやってくれる…
- 区の民生委員との連携がなくなって、困っている。
- 家庭訪問がなくなって家庭の状況がわからなくなっている。地域で連携して情報交換すべき。
- 民生委員は、母子家庭と高齢の家庭とつながる。民生委員でも、踏み込みにくい場合がある。
- コロナで会合がなくなったが、復活させるべき。

- 主任児童委員は学校とつながっていない。

○健康診断で、治療に行かない理由は？

→保護者が忙しい…。

○各項目で、80～90%の肯定的な意見に対して、残り 10%の生徒に対してどう接するかが大事。

＜地域と学校が連携して子どもを育てるために＞

- 三島市や清水町では、地域の方が登下校時に対応してくれているが、函南町ではできないか？

→「見守り隊」が組織され、その方がボランティアとして参加してくれている。

- 不審者に対する防犯対策があるか？

→防犯カメラがある。さすまたもある。不審者対応マニュアルがあるが、訓練はまだできていない。

訓練はやった方がよい。

- 子どもの成長を認める大人の存在が大切。大人になって孤立して犯罪を犯す人がいる。そういう意味では、中学校のときに信頼できる先生がいるというのは大切。